



2023年11月10日

各 位

会 社 名 日 本 ア ン テ ナ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀧 澤 功 一  
コ ー ド 番 号 : 6 9 3 0 東 証 ス タ ン ダ ー ド 市 場  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 清 水 重 三  
T E L 0 3 - 3 8 9 3 - 5 2 2 1

### 2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異

##### (1) 連結業績予想値と実績値との差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	4,700	△1,600	△1,600	△1,600	△153.35
実績値 (B)	5,213	△1,379	△1,270	△1,284	△123.05
増減額 (B-A)	513	220	329	315	—
増減率 (%)	10.92	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	5,573	△898	△886	△784	△75.36

##### (2) 個別業績予想値と実績値との差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,900	△1,400	△1,400	△1,400	△134.18
実績値 (B)	4,314	△1,064	△983	△1,022	△97.97
増減額 (B-A)	414	335	416	377	—
増減率 (%)	10.63	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	4,826	△509	△507	△429	△41.21

### (3) 業績予想との差異の理由

2024年3月期第2四半期累計期間における連結業績及び個別業績につきまして、放送関連機器の売上高に関しては価格改定の効果が顕著に発現し、家電量販店向け家庭用機器につきましては一部地域で台風等の悪天候によるテレビアンテナの需要増があり、またCATV事業者等向け機器につきましては商品納入時期の前倒しがあったこと等から期初の想定を上回りました。通信用アンテナの売上高につきましては、官需向けデジタル無線用アンテナに関しては特に消防無線の更新需要が堅調に推移し期初の想定を上回りましたが、通信事業者向け基地局アンテナや通信モジュール用アンテナに関しては顧客の事業計画遅延の影響が見られ低調に推移しました。また、ソリューション事業につきましては、下期に予定されていた案件が一部前倒しになったことや無線通信工事の大型案件が寄与したこと等により期初の想定を上回りました。この結果、連結及び個別の売上高は、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、急激な円安の進行による原材料価格の高騰等もありましたが、売上の増加が寄与した他、継続して業務の効率化やコストダウンへの取組を行った結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は期初の見通しを上回りました。

なお、2024年3月期通期業績につきましては、放送関連機器に関しては長期化している物価高に伴う消費者マインドの低下を背景に厳しい市場環境が継続すると思われませんが、価格改定が着実に浸透していることもあり概ね期初の想定通りに推移するものと見込んでおります。通信用アンテナにつきましては、通信事業者向け基地局アンテナや通信モジュール用アンテナについては顧客の計画遅延の影響が懸念されますが、官需向けに関しましては消防無線の更新需要が引き続き堅調に推移すると見込んでおります。また、ソリューション事業につきましては、コロナ禍における停滞感から回復の兆しが見える一方で、長期化する建設コスト高がマンション等の共聴改修工事需要への重しとなる状況が継続するものと想定しております。

このため、2024年3月期通期業績における売上高は、2023年5月15日に公表いたしました予想を据え置くものといたします。

利益面につきましても、営業利益、経常利益や当期純利益に関して、原材料価格への為替変動の影響等、流動的な部分があることから、前回予想を据え置くものといたします。

当社の今後の対応といたしましては、引き続きシェアアップと新規マーケットの開拓を行うとともに、より一層の販売・生産体制の効率化・省力化とコストダウンを推進して、収益構造の更なる改善を図ってまいります。

## 2. 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上